

中間答申にあたって

1 会議の経過

- ・長期計画審議会は、平成27年3月9日に市長より、第4次基本構想・後期基本計画（素案）について諮問を受けました。
- ・長期計画審議会を6回開催、4つの分野別起草委員会それぞれで4回、計16回を開催し、市の現況と課題、今後の方向性、進めていく主な取組などについて、市民意向調査の結果等も参考にしつつ、多岐にわたって意見交換と審議を重ねてまいりました。
- ・また、市民懇談会として「こがねいまちづくり カフェ」を実施し、市民の方々が思い描く未来の「小金井」についての話し合いの場を設け、様々なアイデアをいただきました。

2 中間答申の位置付け

- ・第4次基本構想の将来像「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」を実現するための後期基本計画（平成28年度～平成32年度）を計画的に推進していくためには、財政的な裏付けが必要となります。
- ・このことを認識したうえで、現段階での取りまとめを中間答申として報告いたします。市におかれては、これまでの審議等を踏まえられ中期財政計画（案）（平成28年度～平成32年度）を策定いただきたく存じます。

3 今後について

- ・この中間答申をもとに、今後、市民フォーラム、パブリック・コメントを実施し、最終答申に向けて、さらに審議を重ねてまいります。

小金井市長期計画審議会

会長 渡邊 嘉二郎